

「矢祭子ども司書」講座修了にあたって

「矢祭子ども司書」講座を希望され、忙しい日々の中、真剣に講座に参加して、めでたく認定証を授与される「矢祭子ども司書」の皆さん、講座の修了誠におめでとうございます。

皆さんは、10回以上の講座を受講し、修了検定を受け、未来への希望の証として「矢祭もったいない図書館」にその名前を掲示されることになります。難しい講座もたくさんあったかとは思いますが、皆さんは、もったいない図書館の創設の思いを大切にしながら、本に親しみ、豊かな心と将来への夢や希望を大きく育ててきたものと思います。

読書は、言ってみれば、自作のタイムマシンです。自分で未来に関する本を読めば、未来のことを知ることができるし、大昔のことを知りたければ、歴史に関する本を選んで読めば良いのです。このように直接体験することはできないまでも、読書により様々な疑似体験や知識を得ることができます。皆さんには、矢祭もったいない図書館をタイムマシンのある宝の山として、自分の生き方を学ぶために今後も利用していただきますようお願いいたします。

この講座を通じて、図書館活動の一翼を担い、楽しみながら読書をしたり、図書の整理を手伝ったりと図書館と深くかかわりを持ち、子ども司書として、図書館の仕事の大変さ、楽しさや素晴らしさを学んだことでしょう。皆さんの講座をふり返っての言葉にあるように、絵本をつくる楽しみ、本を管理する大変さ、読むことと同時に、読んであげることの楽しさ、読書をとおして友だちと会話できることのすばらしさなどを体験できました。

講座で学んだ皆さんが、もっと本を読みたい、もっとお手伝いをしたい、次の子ども司書の人達を応援したいという思いが伝わり、素晴らしい成長を遂げたこと大変嬉しく思います。是非、今度は、皆さんが、子ども司書講座から学んだことや体験したことを多くの人達に広めていくと共に、さらにまた本を通じてたくさんのことを学び続けて、心豊かな思いやりに溢れる大人になっていただきたいと考えています。

「矢祭子ども司書」講座が、第四期を迎え、さらに充実してまいりましたのは、教育委員会のスタッフとともに、本事業の推進に多大なるご尽力をいただきました、もったいない図書館の関係者、俳人協会の方々、家読推進プロジェクト、各小学校、保護者並びに多くの関係者の皆様方のお陰であります。ここに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

平成25年3月3日

矢祭町教育委員会教育長 古張 金一